

大牟田市立松原中学校

1 本校のESDの特徴

本校のESDの時間は、①問題を解決する力、②主体的、創造的な学び方、考え方、態度、③自己の生き方を考える力、実践する力を身につけさせていくことをねらいとしている。この態度や能力を育てるために、1年「福祉学習」、2年「地域探求学習」、3年「職場体験学習」を主要のテーマにし、各学年で特徴のある取組を行っている。

2 ユネスコスクールとしての活動・全体計画

| 1 学年「福祉学習」 | 2 学年「地域探求学習」 | 3 学年「職場体験学習」 |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 【5月】 ○オリエンテーション 【6・7月】 ○認知症の学習・絵本体験 ○高齢者疑似体験 ○アイマスク・車いす体験 【10・11・12月】 ○介護体験学習の計画 ○福祉施設での介護体験 【1月・2月】 ○職業調べ・10年後の自分 | 【5月】 ○オリエンテーション 【6・7月】 ○事前準備活動 ○地域探求活動 【9・10・11月】 ○課題解決案の作成と検討 【12月】 ○京都での探求活動 【1月】 ○高校調べ | 【5月】 ○オリエンテーション ○事業所調べ 【6・7月】 ○職場体験活動事前学習 ○職場体験活動 【10月】 ○幼児期の発達段階学習 ○保育実習事前学習 【11月】 ○保育実習 |

3 特徴的な活動事例

< 2 学年「地域探求学習」 >

(1) 目標

○大牟田・荒尾の世界遺産や史跡を見学したり、環境・エネルギー施設や伝統地域文化や祭りを継承する人や産業・農業・漁業に関わる人を訪問したりして、地域の文化・歴史や大牟田の現状を知り、大牟田が抱える課題を見つけ、その課題を改善する方法を考えたり、行動したりし、大牟田の未来についても興味関心を持って考えることができるようにする。

(2) 学習課題

「自分達が一生涯生活したいと思う大牟田市になるための方法を提案しよう」

(3) 取組

①大牟田市のよいところや課題を見つけるために、7月に6つのテーマのグループに分かれて地域探求を行った。

| 地域探求グループ | 訪問場所 | 課題 |
|---------------|----------------------------------------|--------------------------------------------|
| 世界遺産史跡, 名所① | ・大牟田市役所・宮原坑跡・三川坑跡 | ・交通の便, 熊本地震以降の観光客の減少住民が興味を持ち, 街を知る。 |
| 世界遺産史跡, 名所② | ・旧長崎税関三池税関支所・万田坑 | ・世界遺産として維持管理費 |
| エネルギー, 環境 | ・メガソーラー発電所・RDF発電所 ・リサイクルプラザ・RDFセンター | ・平成35年以降RDF発電消滅後の大牟田のゴミ問題。 |
| 農業, 漁業, まちづくり | ・橘香園(農家)・オギハラ食品 ・三浦海苔生産漁業協同組合 | ・地産地消ができていない。 ・後継者問題 |
| 産業, まちづくり | ・日立ハイテック九州・信号電材株式会社 ・株式会社ヤマサキ | ・大牟田市への企業誘致, 産業や働く場所 ・人手不足, 産業をいかした街づくり |
| 伝統・文化 | ・四郎國光・草木饅頭江口栄商店 ・大蛇山祭 | ・商品を広める方法 ・大蛇山祭り参加者の減少, 祭りをPR方法 |

②各自が訪問場所の概要や抱える課題をまとめを行った。

< 1 学年「福祉学習」 >

(1) 目標

- 高齢者福祉に貢献するために自らの課題を見つけ、目標を設定して情報を集めて活用し、課題を解決することができる。
- 自分たちにできる高齢者の支援について学ぶことを通して、自分の役割を見出し、将来の生き方について考えることができる。
- 支援を必要とする高齢者に自ら働きかけ、個性を尊重し、必要に応じた支援をすることができる。

(2) 学習課題

絵本教室や高齢者疑似体験を振り返り、高齢者の不自由なことや不便なことに気づき、高齢者にとって住みやすい(やさしい)町づくりの方策を考えることができるようにする。

(3) 取組

| 段 階 | 学習活動・内容 | 留 意 点 |
|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------|
| オリエンテーション | (1)福祉体験学習についてのオリエンテーション | ○年間のスケジュールを確認させる。 |
| 事前準備 | (2)福祉体験学習の学習課題を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">「高齢者にやさしい町づくり」を考えよう。</div> | ○福祉体験学習について説明し、そのねらいや学習課題を持たせる。 |
| 事前準備 | (3)絵本「ぼくのおじいさんは冒険家」を読んで、感想を書く。 | ○絵本を読んで、まず認知症について知り、自分の感想を思ったまま書かせる。 |
| 事前準備 | (4)高齢者疑似体験のグループ作り | ○グループを作り、高齢者疑似体験の活動内容を知らせる。 |
| 情報交換 | (5)絵本教室 | ○コーディネーターを中心に、認知症ってどんな病気？本人の気持ちは？私たちができることは？などの視点で意見を出し合う。 |
| 体験活動 | (6)グループに分かれて高齢者疑似体験を実施する。 | ○車いす、階段、洗濯物干し、などをそれぞれおこなう。 |
| 情報整理 | (7)グループごとに高齢者疑似体験で体験した内容・感想をまとめる。 | ○体験した内容とそれについての感想をまとめる。 |
| まとめ | (8)「高齢者にやさしい町づくりの方策」を考えよう。 | ○高齢者疑似体験をもとに不自由さとその克服のための方策を考える。 |



高齢者疑似体験



絵本教室



地域探究

4 本年度の成果と課題

○成果

- ・自らの問題として探求活動や問題解決に主体的、創造的に取り組むことができた。
- ・自分たちの住む大牟田市のよりよい未来づくりに主体的、継続的に参画する態度を養うことができた。

○課題

- ・大牟田の良さと課題が見えやすい訪問先の選定と解決策の提案場所と方法を工夫すること、及び、調査のための予算面を考える必要がある。